

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	<p>全ての地点において監視基準値の超過はみられなかった(測定回数st.1～st.10、st.12:23回、st.11:24回、st.13:25回)。 クビレミドロ監視地点での最大値は11月4日のst.1で3.7mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は11月16日のst.4で2.4mg/Lであった。</p>		<p>今月の県施工事は、養浜整備工事で、養浜砂(投入・均し)、護岸/防波堤こうじで、消波ブロック据付、裏込材(投入・均し)等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、泊地浚渫工事で、汚濁防止膜設置、浚渫等、護岸工事及び橋梁撤去工事で、橋梁上部・橋梁杭橋脚補強、鋼製覆工板設置、仮設高欄・PC覆工板・鋼製覆工板・橋梁上部・橋梁杭橋脚撤去、H鋼杭引抜、基礎捨石投入等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>		
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3:SS=7mg/L】	全ての地点で基準値(7mg/L)を満足していた。 平均値は1.7mg/L、1.0～3.7mg/Lの範囲で推移していた。		
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、1.0～2.4mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=0回(25計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(25計測中) 平均値は3.8mg/L、1.2～9.6mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	10/13の42.3mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日2.0mm、前日0.0mm、当日9.0mmであった。		
基準超過時の気象概況	<p>・全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>		
基準超過時の工事状況	<p>・全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>				

第8回(11月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和3年11月1日～令和3年11月30日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は11月1日(AM)のst.6、11月23日(PM)st.5で観測された7.8mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.0mg/L、<1.0～7.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=25計測中22回 st.15=25計測中20回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=25計測中1回 st.15=25計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14: 11/19 (AM 下げ潮時)52mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.5mm、前日が6.5mm、当日が8.5mmであった。降雨による陸域からの濁水流入が見られた。 st.15: 11/19 (AM 下げ潮時)39mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.5mm、前日が6.5mm、当日が8.5mmであった。降雨による陸域からの濁水流入が見られた。</p>		
基準超過時の 気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の 工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

